

第 1 号通信

研究報告申込要領
(2016 年 5 月 30 日)

日本広告学会
第 47 回全国大会ご案内
[研究報告申し込みのご案内]

大会統一論題

広告の社会的意義を考える

—広告主にとっての広告、消費者にとっての広告、世の中にとっての広告—

日本広告学会第 47 回全国大会

早稲田大学 早稲田キャンパス

2016 年 10 月 14 日（金）～16 日（日）

大会運営委員長 早稲田大学 嶋村和恵

大会運営委員会事務局 早稲田大学 商学学院 嶋村和恵研究室内

住所：〒169-8050 新宿区西早稲田 1-6-1

電話・FAX：03-5286-2042（研究室直通）

E-mail：jaa2016waseda@gmail.com

ご挨拶

2016年秋、第47回の日本広告学会全国大会を早稲田大学で開催することになりました。早稲田大学はこれまでに小林太三郎先生、亀井昭宏先生と二人の学会会長を輩出しております。2004年11月に、亀井元会長が大会運営委員長となり、大学以外の会場を利用する試みとして木更津のかずさアカデミアパークで大会が開催されましたが、早稲田大学のキャンパスでの全国大会は意外にも今回が初めてです。早稲田キャンパスは、校舎の建て替えが進み、見違えるようになりました。世界各国からの学生や教員がキャンパスを闊歩しています。活気あふれるキャンパスで、広告の意義と未来について皆様と語り合いたいと思っています。

初めての早稲田キャンパスでの開催で、戸惑うこともあります。最善を尽くしてまいります。統一論題、自由論題ともに多くの会員の皆様の報告を期待しています。

2016年5月30日

日本広告学会 第47回(2016年度)全国大会
大会運営委員長 嶋村和恵
(早稲田大学商学大学院)

1. 大会統一論題(大会テーマ)

広告の社会的意義を考える

—広告主にとっての広告、消費者にとっての広告、世の中にとっての広告—

技術の進歩は広告が置かれている環境を変え、広告主、広告会社、媒体社、消費者という単純な図式では広告の仕組みが説明できなくなった。企業がメディアの覇権を握る時代は終わり、消費者同士が情報ニーズを満たし合える環境が整いつつある。企業の広告活動は、情報の責任を明示しながら専門的な創造性を発揮する必要に迫られている。

今日の広告は、消費文化をより良い方向に導いているだろうか。広告が果たす役割の根元には社会的な側面、すなわち豊かな暮らしを支えるという側面がある。高度な技術が可能にした革新的な広告手法が目につく一方で、広告の社会的意義という視点が置き去りにされていないだろうか。社会的な課題の解決を目指す非営利的広告に限らず、広告全般の社会的意義を見直すべきではないか。これは「人の心を基点として、広告の存在意義を問う」と言い換えられるかもしれない。

企業は利益を追求すべきであるが、売ることだけに目を向けてしまい、消費者の笑顔を思い描いていないのではないか。売るための広告クリエイティブは、人々の暮らしを彩っているだろうか。消費者が広告の言語を汲み取り、広告と付き合っていくために必要なのは、どのようなリテラシーだろうか。そして、広告と消費者の関係を第三者的立場から捉える研究者は、学術的および実務的な示唆の追究の中に、社会全体への還元という視点をどのように取り入れていくべきだろうか。情報が氾濫する今日だからこそ、上記の問いに対して広告ビジネス、広告表現、広告研究といった幅広い視点から議論したい。

2. 日程（報告件数によってスケジュール調整の可能性があります）

2016年10月14日（金）～10月16日（日）

- ・14日（金） 午後：各種委員会、拡大常任理事会
- ・15日（土） 午前：基調講演(予定)
午後：シンポジウム(予定)、プロジェクト研究報告(予定)
 会員総会、懇親会
- ・16日（日） 統一論題報告(予定)、自由論題報告（予定）

3. 会場と交通アクセス

早稲田大学 早稲田キャンパス 11号館

J R：山手線「高田馬場」駅から徒歩20分

西武鉄道：新宿線「高田馬場」駅から徒歩20分

地下鉄東京メトロ：東西線「早稲田」駅から徒歩5分、副都心線「西早稲田」駅から徒歩17分

都営バス：「早大正門」停留所から徒歩1分

都電：荒川線「早稲田」駅から徒歩5分

4. 研究報告の申込について

本大会の「研究報告」は統一論題と自由論題で募集します。統一論題報告は、大会テーマに沿った内容での研究報告です。自由論題報告は、広告理論および実務のさまざまな分野から自由なテーマでの研究報告です。なお、研究報告の要領は以下のとおりです。

- (1) **報告者の資格**：本年度までの年会費を7月15日（金）までに納入済みの、日本広告学会正会員及び名誉会員。
- (2) **報告件数**：一人1件。ただし、共同研究者として他の報告に名前を連ねることはできませんが、口頭での報告をすることはできません。
- (3) **報告予定数**：統一論題報告と自由論題報告あわせて24件程度。報告時間は30分（報告20分、質疑応答10分）とします。なお、報告件数については研究報告の応募状況により若干の変更があります。
- (4) **報告申し込み方法**：
 - ・「研究報告申込書」（同封のもの、もしくは学会ホームページからダウンロードしたもの）にご記入の上、大会運営委員会事務局宛にメール、FAX、郵便のいずれかでお申し込みください。
 - ・申込期限：2016年7月31日（日）23時59分。郵送の場合、当日消印有効。
 - ・その後、『大会報告要旨集』原稿を、8月20日（土）までにご提出いただきます。その作成要領は、6月中を目処に学会ホームページでダウンロードできるようにします。
- (5) **報告者の決定**：大会運営委員会が研究報告要旨の内容を検討し、決定いたします。結果は、応募された会員宛に、9月中旬までに通知いたします。

5. プロジェクト研究報告について

- ・今回は萌芽研究プロジェクトの報告1件のみです。
- ・報告時間は30分（報告20分、質疑応答10分）です。

6. 今後の予定

(1) 第2号通信

- ・大会参加申込手続き、大会参加費、懇親会費のご案内
- ・2016年7月中旬発行予定

(2) 第3号通信

- ・大会プログラムのご案内
- ・2016年9月下旬発行予定

7. 第47回（2016年度）全国大会運営委員会

大会運営委員

- ・委員長 嶋村和恵（早稲田大学）
- ・副委員長 広瀬盛一（東京富士大学）
- ・委員 石崎徹（専修大学）、田部溪哉（早稲田大学）、広渡紀子（広渡事務所）、松本大吾（千葉商科大学）

事務局

早稲田大学 商学大学院 嶋村和恵研究室内

住所：〒169-8050 新宿区西早稲田1-6-1

電話・FAX：03-5286-2042（研究室直通）

E-mail：jaa2016waseda@gmail.com

大会に関するお問い合わせは大会運営委員会事務局宛にお寄せください。できる限りメールでご連絡ください。

注意：会場近辺（目白、高田馬場、飯田橋、新大久保、新宿など）には、ビジネスホテルが数多くあります。近年、都内のホテルも予約しにくくなっており、お早めにご手配くださることをおすすめします。